様式 43

救命救急入院料・特定集中治療室管理料の施設基準に係る重症度、医療・看護必要度に係る届出書添付書類

<table>
<tr><td colspan="3">救命救急入院料（１　・　２　・　３　・　４）
特定集中治療室管理料（１　・　２　・　３　・　４）※該当に○</td><td>備　考</td></tr>
<tr><td colspan="2">病　床　数</td><td>床</td><td rowspan="4">入室患者延べ数の算出期間
（１か月）
年　月</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入室患者の状況</td><td>①　入室患者延べ数</td><td>名</td></tr>
<tr><td>②　①のうち重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の延べ数</td><td>名</td></tr>
<tr><td>重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
（②／①）</td><td>%</td></tr>
<tr><td colspan="2">重症度、医療・看護必要度に係る
院内研修の実施状況</td><td colspan="2">実施年月日　　年　　月　　日</td></tr>
</table>

［記載上の注意］

１　届出に係る治療室ごとに記入すること。

２　入室患者延べ数とは、直近１か月において、当該届出を行う治療室に入室した患者の延べ数をいう。退室した日及び短期滞在手術等基本料を算定する患者については入院患者延べ数に含めない。

３　重症度、医療・看護必要度とは、別添６の別紙 17 の「特定集中治療室用の重症度、医療・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行い、「モニタリング及び処置等（Ａ項目）」に係る得点が「４点以上」、かつ「患者の状況等（Ｂ項目）」に係る得点が「３点以上」である患者をいう。